

4-2-9 行政系施設

(1) 庁舎等（庁舎，その他）

① 本庁舎等

方向性

- 本庁舎については、『改修』を行い，建物の耐震性能を向上させる。また，改修から30年後を目途に，建物の『建替』を行い，その建替えにあわせて，分散する庁舎機能（分庁舎1，分庁舎2）を，適地への移転の可能性も踏まえ『集約化』する。なお，一部機能については，利用者の利便性を考慮して，柏駅周辺部での『民間施設の活用』による『移転』を行う。
- 本庁舎別館については，日常的な点検や定期的な修繕に加え，計画的な保全により『現状のまま存続』する。
- 本庁舎分室1については，建物の老朽化にあわせて，近隣の民間施設で代替場所の確保を検討し，一定の目処が立てば，施設を『廃止』の上，建物を『除却』する。なお，既存施設の用途は会議室のため，必要に応じて近隣で『民間施設の活用』をし，代替場所を確保する。
- 本庁舎分室2については，耐用年数を見据えて，施設を構成する子施設である「千葉県警察東葛地区少年センター」について，千葉県警察本部と移転についての協議を行う。また，耐用年数にあわせて，もう1つの子施設である少年補導センターが移転をし，施設が空となるため，『廃止』の上，建物を『除却』する。
- 本庁舎分室4については，本庁舎から離れており，庁舎を集約化すると，使い勝手の面で難があるため，耐用年数にあわせて『廃止』をする。
- 分庁舎1，分庁舎2については，分庁舎1の耐用年数にあわせて『廃止』をし，本庁舎に『集約化』する。なお，廃止をした分庁舎2については，他の施設が新設・移転をする際の受け皿として『転用』する。
- 書庫棟については，耐震補強工事が実施済みであり，耐震性は確保されているため，日常的な点検や定期的な修繕に加え，計画的な保全により『現状のまま存続』する。
- 中央体育館管理棟については，耐用年数にあわせて，庁舎的な利用の施設としては『廃止』をし，スポーツ施設に『転用』をすることで，中央体育館との一体的な利用が図られ，屋内スポーツ活動の中心的拠点施設としてサービスの拡大を図る。
- 消費生活センター，柏市計量検査室については，統合した方が，コスト的にも管理の上でも効率的であるため，柏市計量検査室は『廃止』の上，機能を消費生活センターに『集約化』する。また，廃止をした柏市計量検査室は，老朽化にあわせて建物を『除却』する。なお，消費生活センターは，親施設である中央体育館管理棟の廃止にあわせて，柏駅周辺の民間施設や，本庁舎等に『移転』を行う。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	本庁舎 (1983)	2043	取組	改修		集約化(建替)+移転(一部) +民間施設の活用	
			延床面積 (㎡)	14,279.60	14,279.60	14,279.60	14,279.60
			内容	(第1期) 耐震補強工事を実施し、建物の耐震性能を向上させる。竣工後については、30年間建物を使用することを目標とする。 ※2018年度竣工。 (第4期) 耐震補強工事から30年が経過するため、建物の建替えを行う。なお、分散する庁舎機能(分庁舎1、分庁舎2)を集約化し、利用者の利便性を考慮して、一部機能を駅周辺の民間施設に移転する。			
2	本庁舎別館 (2009)	2069	取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	2,847.09	2,847.09	2,847.09	2,847.09
			内容				
3	本庁舎分室1 (1994)	2054	取組		その他	廃止+除却+民間施設の活用	
			延床面積 (㎡)	494.14	494.14	0.00	0.00
			内容	(第2期) 建物の老朽化にあわせて、近隣の民間施設で代替場所の確保を検討する。 (第3期) 施設を廃止の上、建物を除却する。なお、既存施設の用途は会議室のため、必要に応じて近隣の民間施設を賃借し、代替場所として確保する。			
4	本庁舎分室2 (1983)	2043	取組		その他	廃止+除却	
			延床面積 (㎡)	71.88	71.88	0.00	0.00
			内容	(第2期) 施設を構成する子施設である「千葉県警察東葛地区少年センター」について、千葉県警察本部と移転についての協議を行う。 (第3期) 施設を構成する子施設である少年補導センターが移転することにより、施設が空となるため、耐用年数にあわせて廃止をし、建物を除却する。			
5	本庁舎分室4 (1987)	2047	取組			廃止	
			延床面積 (㎡)	273.16	273.16	273.16	0.00
			内容	(第4期) 本庁舎から離れており、庁舎を集約化すると、使い勝手の面で難があるため、耐用年数にあわせて廃止をする。			
6	分庁舎1 (1988)	2048	取組			(廃止して他の施設と)集約化	
			延床面積 (㎡)	2,189.02	2,189.02	2,189.02	0.00
			内容	(第4期) 耐用年数にあわせて廃止をし、本庁舎に集約化する。			
7	分庁舎2 (2009)	2069	取組			(廃止して他の施設と)集約化+転用	
			延床面積 (㎡)	993.72	993.72	993.72	993.72
			内容	(第4期) 分庁舎2としては廃止をし、本庁舎に集約化する。なお、廃止後の建物については、他の施設が新設・移転をする際の受け皿とする。			
8	書庫棟 (1978)	2038	取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	945.76	945.76	945.76	945.76
			内容	(第1期) ※2010年度に耐震補強工事を実施。 (第3期) 耐震補強工事の実施により、継続使用が可能となったため、現状のまま存続する。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
9	中央体育館管理棟 (1976)	2036	取組			廃止＋転用	
			延床面積 (㎡)	1,093.13	1,093.13	1,264.76	1,264.76
			内容	庁舎的な利用の当該施設は廃止をし、スポーツ施設に転用をすることで、中央体育館との一体的な利用が図られ、屋内スポーツ活動の中心的拠点施設としてサービスの拡大を図る。 ※転用に際して、消費生活センター分の面積の受入れを行う。			
10	消費生活センター (1976)	2036	取組			移転＋集約化(同種の施設を受入れ) ＋廃止(既存施設)	
			延床面積 (㎡)	171.63	171.63	0.00	0.00
			内容	親施設(中央体育館管理棟)の廃止にあわせて、既存施設は廃止をし、柏駅周辺の民間施設や、本庁舎等に移転を行う。なお、計量検査室の機能を移転先で集約化する。 ※縮減された面積は、中央体育館管理棟に加算。			
11	柏市計量検査室 (2002)	2062	取組			(廃止して他の施設と)集約化	除却
			延床面積 (㎡)	197.33	197.33	197.33	0.00
			内容	(第3期) 消費生活センターと計量検査室は統合した方が、コスト的にも管理の上でも効率的であるため、当該施設は廃止の上、機能を消費生活センターに集約化する。 (第4期) 老朽化にあわせて建物を除却する。			

② 沼南庁舎・出張所等

方向性

- 沼南庁舎については、施設の長寿命化に向けた保全計画を策定し、日常的な点検や定期的な修繕に加え、保全計画に基づく計画的な保全を実施していくことにより、建物の長寿命化を図る。なお、当該施設は沼南地域の中心的な行政サービスの拠点であり、今後も引続き施設の需要が見込まれるため、竣工から70年目を目途に、建物の『建替』を行う。
- 出張所の再編の方向性については、今後、各出張所における事務取扱件数や施設の需要の見込みを踏まえ、適宜見直しを行う。
- 田中出張所については、田中近隣センターの集約化とあわせて、『複合化（建替）』を行い、新たな施設内で再整備をする。
- 豊四季台出張所については、豊四季台近隣センターの移転・複合化とあわせて、『移転＋複合化（建替）＋廃止（既存施設）』を行い、新たな複合施設内で再整備をする。
- 西原出張所については、駐車場が狭隘であることから、利用者の利便性と利用率の向上を図るために行う西原近隣センターの移転とあわせて、『移転＋複合化（建替）＋廃止（既存施設）』を行い、新たな施設内で再整備をする。
- 富勢出張所については、市全体の出張所の再編の方向性を見据え、施設のあり方（必要な機能、規模及び配置など）を検討する。
- 柏駅前行政サービスセンターについては、区分所有物件（ファミリー柏の建物を一部所有）であり、建物全体の改修等は、「柏駅前第一商業協同組合共同ビル管理規約」に基づき必要に応じて適宜実施されていくため、耐用年数到達後も『現状のまま存続』する。
- その他の出張所については、親施設（近隣センター）の改修とあわせて『改修』を行い、快適で魅力ある施設に再整備をする。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	沼南庁舎 (1980)	2040	取組	その他		建替	
			延床面積 (㎡)	6,036.39	6,036.39	6,036.39	6,036.39
			内容	(第1期) 施設の長寿命化に向けた保全計画を策定する。 (第4期) 沼南地域の中心的行政サービスの拠点であり、今後も引き続き施設の需要が見込まれるため、建物の建替えを行う。			
2	田中出張所 (1979)	2039	取組	複合化(建替)			
			延床面積 (㎡)	79.75	79.75	79.75	79.75
			内容	(第2期) 田中近隣センターの集約化とあわせて、新たな施設内で再整備をする。 ※面積は同規模を想定。			
3	増尾出張所 (1980)	2040	取組	改修			
			延床面積 (㎡)	61.50	61.50	61.50	61.50
			内容	(第1期) 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をする。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
4	光ヶ丘出張所 (1981)	2041	取組	改修			
			延床面積 (㎡)	86.00	86.00	86.00	86.00
			内容	(第1期) 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をする。 (第2期) ※第1期計画期間から第2期計画期間の中で改修を想定。			
5	豊四季台出張所 (1982)	2042	取組	移転+複合化(建替)+廃止(既存施設)			
			延床面積 (㎡)	90.00	90.00	90.00	90.00
			内容	(第1期) 豊四季台近隣センターの移転・複合化とあわせて、新たな複合施設内で再整備をする。 (第2期) ※面積は同規模を想定。			
6	南部出張所 (1978)	2038	取組	改修(「基本方針編」で定めるモデル事業)			
			延床面積 (㎡)	70.20	70.20	70.20	70.20
			内容	(第1期) 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をする。			
7	西原出張所 (1978)	2038	取組	移転+複合化(建替)+廃止(既存施設)			
			延床面積 (㎡)	72.00	72.00	72.00	72.00
			内容	駐車場が狭隘であることから、利用者の利便性と利用率の向上を図るために行う西原近隣センターの移転とあわせて、新たな施設内で再整備をする。 (第2期) ※面積は同規模を想定。			
8	松葉出張所 (1987)	2047	取組	改修	改修		
			延床面積 (㎡)	76.95	76.95	76.95	76.95
			内容	(第2期) 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をする。 (第3期) ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
9	藤心出張所 (1987)	2047	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	64.60	64.60	64.60	64.60
			内容	(第2期) ・ 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をする。 (第3期) ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
10	高柳出張所 (1994)	2054	取組		改修	改修	
			延床面積 (㎡)	84.30	84.30	84.30	84.30
			内容	(第2期) ・ 近隣センターの改修とあわせて、快適で魅力ある施設に再整備をする。 (第3期) ※第2期計画期間から第3期計画期間の中で改修を想定。			
11	富勢出張所 (1972)	2032	取組		その他		
			延床面積 (㎡)	118.48	118.48	118.48	118.48
			内容	(第2期) 市全体の出張所の再編の方向性を見据え、施設のあり方(必要な機能、規模及び配置など)を検討する。			
12	柏駅前行政サービスセンター (1973)	2033	取組		現状のまま存続		
			延床面積 (㎡)	46.02	46.02	46.02	46.02
			内容	(第2期) 当該施設は区分所有物件(ファミリー柏の建物を一部所有)であり、建物全体の改修等は、「柏駅前第一商業協同組合共同ビル管理規約」に基づき、必要に応じて適宜実施されていく。			

③ その他庁舎等（事務所、観光案内所、環境学習研究施設）

方向性

- 北柏駅周辺整備課現地事務所については、2023年度完了予定の北柏駅北口土地区画整理事業を施行する現地事務所であり、事業完了後は不要となるため、施設を『廃止』し、建物を『除却』する。
- 道路サービス事務所については、定年退職等による職員の減少により、事務所機能が過大となった場合については、資材置場機能は存続させ、事務所機能は分庁舎1等へ『移転』をする。また、耐用年数にあわせて建物の一部『除却』を検討する。なお、事務所機能の移転、建物の一部除却を行う場合についても、人員に応じた縮減を前提としながら、労働条件の確保に配慮する。
- 文化財整理室については、建物を『改修』することにより、施設の長寿命化を図る。
- かしわインフォメーションセンターについては、区分所有物件（ファミリー柏の建物を一部所有）であり、建物全体の改修等は、「柏駅前第一商業協同組合共同ビル管理規約」に基づき必要に応じて適宜実施されていくため、耐用年数到達後も『現状のまま存続』する。
- かしわ環境ステーションについては、親施設である柏市第二清掃工場とあわせて、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な保全により『現状のまま存続』する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	北柏駅周辺整備課現地事務所 (2008)	2068	取組	廃止＋除却			
			延床面積 (㎡)	0.00	0.00	0.00	0.00
			内容	(第1期) 当該施設は、2023年度完了予定の北柏駅北口土地区画整理事業を施行する現地事務所であり、事業完了後は不要となるため、施設を廃止し、建物を除却する。			
2	道路サービス事務所 (1977)	2037	取組		移転(一部)	除却(一部)	
			延床面積 (㎡)	1,093.96	1,093.96	775.96	775.96
			内容	(第2期) 定年退職等による職員の減少により、事務所機能が過大となった場合については、資材置場機能は存続させ、事務所機能は分庁舎1等へ移転をする。 (第3期) 耐用年数にあわせて、建物の一部除却を図る。			
3	文化財整理室 (2000)	2060	取組	改修			
			延床面積 (㎡)	2,070.45	2,070.45	2,070.45	2,070.45
			内容	(第1期) 建物を改修することにより、施設の長寿命化を図る。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
4	かしわインフォメーションセンター (1973)	2033	取組		現状のまま存続		
			延床面積 (㎡)	162.55	162.55	162.55	162.55
			内容	(第2期) 当該施設は区分所有物件(ファミリ柏の建物を一部所有)であり、建物全体の改修等は、「柏駅前第一商業協同組合共同ビル管理規約」に基づき、必要に応じて適宜実施されていく。			
5	かしわ環境ステーション (2004)	2064	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	124.37	124.37	124.37	124.37
			内容				

④ 倉庫類

方向性

- 保健所倉庫については、建物の老朽化にあわせて、大規模な改修を行うよりも、代替場所の確保を検討する。また、書類はデータ化を推進し、格納物の削減を図る。なお、配置換えなどにより、総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）内を中心に代替場所が確保されれば、格納されている書類等を移動し、施設を『廃止』の上、建物を『除却』する。
- 市史編さん倉庫については、建物の老朽化にあわせて、大規模な改修を行うよりも、代替場所の確保を検討する。なお、代替場所が確保されれば、格納されている歴史資料を移動し、施設を『廃止』の上、建物を『除却』する。
- 県立柏の葉公園柏市倉庫については、老朽化にあわせて建物を『除却』する。なお、格納されている物品については、必要に応じて代替場所を確保し、『移転』の検討をする。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	保健所倉庫 (1992)	2052	取組		その他	廃止+除却	
			延床面積 (㎡)	202.22	202.22	0.00	0.00
			内容	(第2期) 建物の老朽化にあわせて、大規模な改修を行うよりも、代替場所の確保を検討する。また、書類はデータ化を推進し、格納物の削減を図る。 (第3期) 配置換えなどにより、総合保健医療福祉施設（ウェルネス柏）内を中心に代替場所が確保されれば、格納されている書類等を移動し、施設を廃止の上、建物を除却する。			
2	市史編さん倉庫 (1982)	2042	取組	その他	廃止+除却		
			延床面積 (㎡)	120.00	0.00	0.00	0.00
			内容	(第1期) 建物の老朽化にあわせて、大規模な改修を行うよりも、代替場所の確保を検討する。 (第2期) 代替場所が確保されれば、格納されている歴史資料を移動し、施設を廃止の上、建物を除却する。			
3	県立柏の葉公園柏市倉庫 (2003)	2063	取組				除却+その他
			延床面積 (㎡)	121.09	121.09	121.09	0.00
			内容	(第4期) 老朽化にあわせて建物を除却する。なお、格納されている物品については、必要に応じて代替場所を確保し、移転の検討をする。			

(2) 消防施設（消防庁舎、消防団器具置場）

① 消防庁舎

方向性

- 消防局・西部消防署については、耐用年数にあわせて『建替』をする。なお、建築当初と違い、北部地域で大幅な人口増が予測されていることから、管内配置のバランスも視野に入れながら、『移転』も含めて検討を行う。
- 消防指令センターについては、千葉北西部消防指令センターへ一部を除く機能を移管することに伴い、施設の一部を『廃止』し、他の施設用途へと『転用』する。なお、緊急時の施設であるため、業務に支障をきたさない範囲とする。
- 沼南消防署については、耐用年数にあわせて『建替』をする。なお、2012年度に手賀分署が開設したことにより、管内配置のバランスが変わったことから、『移転』も含めて検討を行う。
- 以下の消防署及び分署については、管内配置のバランスに問題がないことから、耐用年数にあわせて、現在地での『建替』を行う。
 - ・ 東部消防署
 - ・ 東部消防署逆井分署
 - ・ 東部消防署光ヶ丘分署
 - ・ 旭町消防署
 - ・ 旭町消防署西原分署
 - ・ 沼南消防署高柳分署
- 以下の分署については、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な保全により『現状のまま存続』する。
 - ・ 西部消防署富勢分署
 - ・ 西部消防署たなか分署
 - ・ 沼南消防署手賀分署

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	消防局・西部消防署 (1979)	2039	取組			建替(+移転)	
			延床面積 (㎡)	3,574.74	3,574.74	3,574.74	3,574.74
			内容	(第3期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、建築当初と違い、北部地域で大幅な人口増が予測されていることから、管内配置のバランスも視野に入れながら、移転も含めて検討を行う。			
2	消防指令センター (1996)	2056	取組	廃止(一部)+転用(一部)			
			延床面積 (㎡)	526.00	526.00	526.00	526.00
			内容	千葉北西部消防指令センターへ一部を除く機能を移管することに伴い、施設の一部を廃止し、他の施設用途へと転用する。なお、緊急時の施設であるため、業務に支障をきたさない範囲とする。 ※2020年度を予定。なお、一部の機能(遠隔制御部門)については、現状のまま存続する。			
3	西部消防署富勢分署 (2009)	2069	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	1,205.50	1,205.50	1,205.50	1,205.50
			内容				

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
4	西部消防署たなか分署 (2014)	2074	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	884.96	884.96	884.96	884.96
			内容				
5	東部消防署 (1990)	2050	取組				建替
			延床面積 (㎡)	1,717.47	1,717.47	1,717.47	1,717.47
			内容	(第4期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替えとする。			
6	東部消防署逆井分署 (1994)	2054	取組				建替
			延床面積 (㎡)	1,171.63	1,171.63	1,171.63	1,171.63
			内容	(第4期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替えとする。			
7	東部消防署光ヶ丘分署 (1984)	2044	取組			建替	
			延床面積 (㎡)	674.11	674.11	674.11	674.11
			内容	(第3期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替えとする。			
8	旭町消防署 (1988)	2048	取組				建替
			延床面積 (㎡)	858.81	858.81	858.81	858.81
			内容	(第4期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替えとする。			
9	旭町消防署西原分署 (1990)	2050	取組				建替
			延床面積 (㎡)	799.91	799.91	799.91	799.91
			内容	(第4期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替えとする。			
10	沼南消防署 (1979)	2039	取組			建替(＋移転)	
			延床面積 (㎡)	988.53	988.53	988.53	988.53
			内容	(第3期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、2012年度に手賀分署が開設したことにより、管内配置のバランスが変わったことから、移転も含めて検討を行う。			
11	沼南消防署高柳分署 (1985)	2045	取組			建替	
			延床面積 (㎡)	597.80	597.80	597.80	597.80
			内容	(第3期) 耐用年数にあわせて建替えをする。なお、管内配置のバランスに問題がないことから、現在地での建替えとする。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
12	沼南消防署手賀分署 (2011)	2071	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	840.45	840.45	840.45	840.45
			内容				

② 消防団器具置場

方向性

- 以下の分団の器具置場については、施設の老朽化にあわせて、『移転』の上、『建替』をする。なお、車両が大きくなり（大型化）、災害資機材も増えてきているため、規模の『拡大』を行う。
 - ・ 第1方面第3分団 ・ 第1方面第7分団 ・ 第2方面第3分団
 - ・ 第2方面第7分団 ・ 第2方面第8分団 ・ 第2方面第9分団
 - ・ 第2方面第10分団 ・ 第3方面第7分団 ・ 第4方面第1分団
 - ・ 第4方面第2分団 ・ 第4方面第3分団 ・ 第4方面第6分団
 - ・ 第4方面第7分団 ・ 第4方面第8分団 ・ 第5方面第1分団
 - ・ 第5方面第2分団 ・ 第5方面第3分団 ・ 第5方面第4分団
 - ・ 第5方面第5分団 ・ 第5方面第6分団 ・ 第5方面第8分団
 - ・ 第5方面第9分団
- 以下の分団の器具置場については、施設の老朽化にあわせて、『移転』の上、『建替』をする。なお、他の消防団器具置場に比べて過大なため、規模の『縮小』を行う。
 - ・ 第3方面第6分団 ・ 第4方面第4分団
- 柏市消防団第3方面第4分団器具置場については、外壁塗装及びシーリングが劣化しているため、建物の『改修』を行う。なお、建物の改修後は、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な保全により『現状のまま存続』する。
- その他分団の器具置場については、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な保全により『現状のまま存続』する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	柏市消防団第1方面 第1分団器具置場 (2005)	2065	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	96.39	96.39	96.39	96.39
			内容				
2	柏市消防団第1方面第 2分団器具置場 (2010)	2070	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				
3	柏市消防団第1方面第 3分団器具置場 (1990)	2050	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	57.96	57.96	90.00	90.00
			内容	施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、(第3期) 規模の拡大を行う。 ※2040年度に実施予定。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
4	柏市消防団第1方面第4分団器具置場 (2015)	2075	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				
5	柏市消防団第1方面第5分団器具置場 (2007)	2067	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	105.40	105.40	105.40	105.40
			内容				
6	柏市消防団第1方面第6分団器具置場 (2014)	2074	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				
7	柏市消防団第1方面第7分団器具置場 (1989)	2049	取組		移転+建替+拡大		
			延床面積 (㎡)	57.96	57.96	90.00	90.00
			内容	施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、(第3期)規模の拡大を行う。 ※2040年度に実施予定。			
8	柏市消防団第1方面第8分団器具置場 (2016)	2076	取組	移転+建替+拡大			現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	89.44	89.44	89.44	89.44
			内容	(第1期) ※2016年度に規模を拡大の上、移転・建替えを実施。			
9	柏市消防団第2方面第1分団器具置場 (2010)	2070	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				
10	柏市消防団第2方面第2分団器具置場 (2016)	2076	取組	移転+建替+拡大			現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	89.44	89.44	89.44	89.44
			内容	(第1期) ※2016年度に規模を拡大の上、移転・建替えを実施。			
11	柏市消防団第2方面第3分団器具置場 (1976)	2036	取組	移転+建替+拡大			
			延床面積 (㎡)	90.00	90.00	90.00	90.00
			内容	(第1期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
12	柏市消防団第2方面第4分団器具置場 (1996)	2056	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	119.00	119.00	119.00	119.00
			内容				
13	柏市消防団第2方面第5分団器具置場 (2001)	2061	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	119.60	119.60	119.60	119.60
			内容				
14	柏市消防団第2方面第6分団器具置場 (1999)	2059	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	121.62	121.62	121.62	121.62
			内容				
15	柏市消防団第2方面第7分団器具置場 (1990)	2050	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	57.96	57.96	90.00	90.00
			内容	施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、(第3期) 規模の拡大を行う。 ※2040年度に実施予定。			
16	柏市消防団第2方面第8分団器具置場 (1974)	2034	取組	移転+建替+拡大			
			延床面積 (㎡)	90.00	90.00	90.00	90.00
			内容	施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、(第1期) 規模の拡大を行う。 ※2025年度までに実施予定。			
17	柏市消防団第2方面第9分団器具置場 (1989)	2049	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	57.96	57.96	90.00	90.00
			内容	施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、(第3期) 規模の拡大を行う。 ※2039年度に実施予定。			
18	柏市消防団第2方面第10分団器具置場 (1977)	2037	取組	移転+建替+拡大			
			延床面積 (㎡)	90.00	90.00	90.00	90.00
			内容	施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、(第1期) 規模の拡大を行う。 ※2025年度までに実施予定。			
19	柏市消防団第3方面第1分団器具置場 (2003)	2063	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
20	柏市消防団第3方面第2分団器具置場 (1998)	2058					
			取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	119.68	119.68	119.68	119.68
			内容				
21	柏市消防団第3方面第3分団器具置場 (2009)	2069					
			取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				
22	柏市消防団第3方面第4分団器具置場 (1996)	2056					
			取組	改修			現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	119.00	119.00	119.00	119.00
			内容	(第1期) 外壁塗装及びシーリングが劣化しているため、建物の改修を行う。			
23	柏市消防団第3方面第5分団器具置場 (2003)	2063					
			取組			現状のまま存続	
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				
24	柏市消防団第3方面第6分団器具置場 (1995)	2055					
			取組				移転+建替+縮小
			延床面積 (㎡)	105.75	105.75	105.75	90.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、他の消防団器具置場に比べて過大なため、規模の縮小を行う。			
25	柏市消防団第3方面第7分団器具置場 (1991)	2051					
			取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	62.10	62.10	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
26	柏市消防団第4方面第1分団器具置場 (1982)	2042					
			取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	72.80	72.80	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
27	柏市消防団第4方面第2分団器具置場 (1981)	2041					
			取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	80.31	80.31	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
28	柏市消防団第4方面第3分団器具置場 (1981)	2041	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	44.87	44.87	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
29	柏市消防団第4方面第4分団器具置場 (1986)	2046	取組				移転+建替+縮小
			延床面積 (㎡)	92.78	92.78	92.78	90.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、他の消防団器具置場に比べて過大なため、規模の縮小を行う。			
30	柏市消防団第4方面第5分団器具置場 (2012)	2072	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	110.50	110.50	110.50	110.50
			内容				
31	柏市消防団第4方面第6分団器具置場 (1984)	2044	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	45.37	45.37	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
32	柏市消防団第4方面第7分団器具置場 (1984)	2044	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	45.37	45.37	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
33	柏市消防団第4方面第8分団器具置場 (1982)	2042	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	44.87	44.87	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
34	柏市消防団第5方面第1分団器具置場 (1983)	2043	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	44.88	44.88	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
35	柏市消防団第5方面第2分団器具置場 (1982)	2042	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	44.87	44.87	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
36	柏市消防団第5方面第3分団器具置場 (1988)	2048	取組				移転+建替+拡大
			延床面積 (㎡)	75.61	75.61	75.61	90.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
37	柏市消防団第5方面第4分団器具置場 (1990)	2050	取組				移転+建替+拡大
			延床面積 (㎡)	70.48	70.48	70.48	90.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
38	柏市消防団第5方面第5分団器具置場 (1981)	2041	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	44.87	44.87	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
39	柏市消防団第5方面第6分団器具置場 (1983)	2043	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	44.88	44.88	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
40	柏市消防団第5方面第7分団器具置場 (2003)	2063	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	70.00	70.00	70.00	70.00
			内容				
41	柏市消防団第5方面第8分団器具置場 (1984)	2044	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	60.28	60.28	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			
42	柏市消防団第5方面第9分団器具置場 (1983)	2043	取組			移転+建替+拡大	
			延床面積 (㎡)	59.78	59.78	90.00	90.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて、移転の上、建替えをする。なお、車両が大きくなり(大型化)、災害資機材も増えてきているため、規模の拡大を行う。			

(3) 環境施設（清掃収集事務所、最終処分場）

方向性

- 柏市清掃収集事務所については、建物の老朽化の進行に伴い、ごみ収集運搬作業の拠点施設としては機能維持が困難になるため、単独の施設としては『廃止』をし、事務所としての機能については、柏市第二清掃工場内への『複合化』を検討する。なお、建物については、耐用年数をもって『除却』をする。
- 柏市最終処分場、布施最終処分場については、施設内で発生している浸出水の水質等が安定し、処分場の廃止要件を満たしていれば、耐用年数にあわせて『廃止』をし、建物を『除却』する。なお、処分場の廃止要件を満たさなければ、水処理施設の更新について検討を行う。
- 柏市第二最終処分場については、施設内で発生している浸出水の管理を行うため、『現状のまま存続』する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	柏市清掃収集事務所 (1990)	2050	取組			(廃止して他の施設と)複合化	除却
			延床面積 (㎡)	2,397.17	2,397.17	2,397.17	0.00
			内容	(第3期) 建物の老朽化の進行に伴い、ごみ収集運搬作業の拠点施設としては機能維持が困難になるため、単独の施設としては廃止をし、事務所としての機能は柏市第二清掃工場内への複合化を検討する。 (第4期) 建物については、耐用年数をもって除却をする。			
2	柏市最終処分場 (1991)	2051	取組				廃止＋その他
			延床面積 (㎡)	414.81	414.81	414.81	0.00
			内容	(第4期) 水質等が安定し、処分場の廃止要件を満たしていれば、耐用年数にあわせて廃止をし、建物を除却する。なお、処分場の廃止要件を満たさなければ、水処理施設の更新について検討を行う。			
3	布施最終処分場 (1980)	2040	取組			廃止＋その他	
			延床面積 (㎡)	382.26	382.26	0.00	0.00
			内容	(第3期) 水質等が安定し、処分場の廃止要件を満たしていれば、耐用年数にあわせて廃止をし、建物を除却する。なお、処分場の廃止要件を満たさなければ、水処理施設の更新について検討を行う。			
4	柏市第二最終処分場 (2002)	2062	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	481.63	481.63	481.63	481.63
			内容	(第4期) 施設内で発生している浸出水の管理を行うため、現状のまま存続する。			

(4) 防災施設（防災会館、防災備蓄倉庫）

方向性

- 防災備蓄倉庫については、災害時の減災を図る上で必要な物資が備蓄されており、市民の生命及び財産を保全する上で必要不可欠であることから、再編を検討するに当たっては、備蓄物資の移転先を確実に確保することが前提となる。そのため、本再編方針で『移転』の方向性を示している防災備蓄倉庫についても、移転先が確実に確保されていることが前提であり、移転先の確保が困難な場合については、他の施設の新設や改修の時期にあわせて、防災備蓄倉庫の『新設』（同一敷地内に新設又は同一建物内に複合化）についても検討をする必要がある。
- 増尾台防災会館については、県道51号線の交差点改良工事の影響で、将来的に移転を求められるため、施設を『廃止』の上、建物を『除却』する。なお、防災備蓄倉庫の機能は、既存の他施設へと『移転』を図る。
- 以下の防災備蓄倉庫については、施設の老朽化にあわせて『廃止』の上、建物を『除却』する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと『移転』を図る。
 - ・ 防災備蓄倉庫（松葉町）
 - ・ 防災備蓄倉庫（酒井根中学校）
 - ・ 防災備蓄倉庫（大津ヶ丘中学校）
 - ・ 防災備蓄倉庫（学校給食センター）
 - ・ 防災備蓄倉庫（高柳近隣センター）
 - ・ 防災備蓄倉庫（手賀中学校）
- 防災備蓄倉庫（柏中学校）については、施設の老朽化にあわせて『廃止』の上、建物を『除却』する。なお、体育館内に設置される防災備蓄倉庫については、他の防災備蓄倉庫との『集約化』を図る。
- その他の防災備蓄倉庫については、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な保全により『現状のまま存続』する。

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
1	増尾台防災会館 (1975)	2035	取組	移転(一部)+廃止(既存施設)+除却			
			延床面積 (㎡)	0.00	0.00	0.00	0.00
			内容	(第1期) 県道51号線の交差点改良工事の影響で、将来的に移転を求められるため、施設を廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫の機能は、既存の他施設へと移転を図る。			
2	防災備蓄倉庫(西原中学校) (1996)	2056	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	100.00	100.00	100.00	100.00
			内容				
3	防災備蓄倉庫(松葉町) (1983)	2043	取組			移転+廃止(既存施設)+除却	
			延床面積 (㎡)	55.35	55.35	0.00	0.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
4	防災備蓄倉庫(高田小学校) (2010)	2070	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
5	防災備蓄倉庫(柏中学校) (1982)	2042	取組			(廃止して他の施設と)集約化+除却	
			延床面積 (㎡)	55.35	55.35	0.00	0.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて『廃止』の上、建物を『除却』する。なお、体育館内に設置される防災備蓄倉庫については、他の防災備蓄倉庫との『集約化』を図る。			
6	防災備蓄倉庫(柏第三小学校) (1996)	2056	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	100.00	100.00	100.00	100.00
			内容				
7	防災備蓄倉庫(関場町) (1996)	2056	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	172.50	172.50	172.50	172.50
			内容				
8	防災備蓄倉庫(土小学校) (2001)	2061	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	30.00	30.00	30.00	30.00
			内容				
9	防災備蓄倉庫(涌井根中学校) (1982)	2042	取組			移転+廃止(既存施設)+除却	
			延床面積 (㎡)	55.35	55.35	0.00	0.00
			内容	(第3期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。			
10	防災備蓄倉庫(大津ヶ丘中学校) (1995)	2055	取組				移転+廃止(既存施設)+除却
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	0.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。			
11	防災備蓄倉庫 (学校給食センター) (1993)	2053	取組				移転+廃止(既存施設)+除却
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	0.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。			

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
12	防災備蓄倉庫(沼南庁舎) (1996)	2056	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
13	防災備蓄倉庫 (大津ヶ丘第一小学校) (1999)	2059	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
14	防災備蓄倉庫(風早中学校) (1998)	2058	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
15	防災備蓄倉庫 (高柳近隣センター) (1994)	2054	取組				移転+廃止(既存施設)+除却
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	0.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。			
16	防災備蓄倉庫(高柳西小学校) (1997)	2057	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
17	防災備蓄倉庫(高柳中学校) (1998)	2058	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
18	防災備蓄倉庫(手賀東小学校) (1997)	2057	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
19	防災備蓄倉庫(手賀西小学校) (1997)	2057	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				

No.	施設名 (建築年度)	耐用年数 到達年度	再編の取組				
			第1期 (2016～2025)	第2期 (2026～2035)	第3期 (2036～2045)	第4期 (2046～2055)	
20	防災備蓄倉庫(手賀中学校) (1995)	2055	取組				移転+廃止(既存施設)+除却
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	0.00
			内容	(第4期) 施設の老朽化にあわせて廃止の上、建物を除却する。なお、防災備蓄倉庫としての機能自体は、既存の他施設へと移転を図る。			
21	防災備蓄倉庫(沼南体育館) (1996)	2056	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	13.93	13.93	13.93	13.93
			内容				
22	防災備蓄倉庫 (手賀近隣センター) (2015)	2075	取組				現状のまま存続
			延床面積 (㎡)	100.11	100.11	100.11	100.11
			内容				